

いつでもここに  
祝 FANS 1500公演に添えて

文／田面木 昭恵（劇団INTELVISTA）

11月4日金曜日。1500回目のFANS。BENさんの一人芝居、行かないわけにはいかなかった。

2018年、20周年をもって私の所属する劇団が活動を休止した。その後、私事と巷の流行り病のせいにして、芝居から遠ざかって3年。それまでは、毎年訪れていたのだが、久しぶりにスペースベン（以下、ベンスタ）の前に立つ。お世話になりっぱなしのはずなのに、私は本当に薄情な男だ。

FANS (Friday Amusement Negative Shop) は毎週金曜日に開催される。BENさんは毎週休まず、どんなことがあっても金曜日はベンスタを開けていた。さて、1年間で金曜日は何日あるのか。約50日だ。1500回を50日で割ると、30年。BENさんは30年間も、一度も休まず、FANSを開催し続けたことになる。毎週必ず表現する場を、観劇する機会を提供し続けてくれたのだ。20年で一

区切りと想っていた私が恥ずかしくなる。

ベンスタのドアを開ける。入り口にはBENさん。いつも通り、笑顔で迎えてくれた。舞台上にはぼつんとDJブースが置かれている。久しぶりのベンスタの空気に身を委ねる。1500回の記念公演というにはあまりにも質素な空間。周りには顔なじみの芝居仲間が何人もいた。知った顔、知った空間。私の心はまたここにいられる嬉しさと、これからの期待



FANS第1500回公演 ひま人DJ編～笑う果実～

感で満たされていた。客入れの音を止め、照明を落とし、舞台に立つBENさん。すべて自分で行う。これぞBENさんスタイル。DJはリスナーからの手紙を読む。メールではない、封筒から取り出した便箋を読む。内容は行方不明の妻を探る男性からのもの。悲しくも怪奇、そして美しい物語へと発展する。余計な抑揚もなく淡々と読み上げるのだが、その静かなBENさんの発声の世界観を余計に増長する。観客はただ、その声と世界観に浸る。ただ浸る…

1500回目の公演は、FANSのBENさんの原点であった。最後の挨拶では、これからもFANSは続くと、静かに宣言された。どうやら、この1500回はあくまでも通過点らしい。八戸市柏崎のスペースベンはずっとここにあり続け、これからもここで発信し続ける。その確かなものをこの公演で観せてもらった。そして、1500回分のいくつかを自分が担えたことをありがたく思えた。帰り道、私もそろそろ動こうか…そんなことを考えていた。いつもそう思わせてくれるBENさんとFANS。これからもお世話になりますね。

## ●筆者近況

劇団INTELVISTAの役者兼制作他。普段の顔は小学校教師。私生活では3歳男児と格闘中。

## 第16回 八戸パフォーマンス劇場

【日時】2月26日（日）開演13:00 【場所】八戸市公会堂 【料金】500円 【問合せ】(株)アート&コミュニティ ☎0178-44-7171

演劇空間 **スペースベン**

～演劇好きのための、演劇の場～

※特別番組以外 金曜日は19時30分～、料金は一般前売500円  
大学生以下前売200円（当日それぞれ100円増し）

※チケットはスペースベンにて販売。スペースベンの上演内容は、ホームページまたはメールマガジンでご確認下さい

八戸市柏崎1-11-8 TEL:080-6025-0990 FAX:050-3588-8350  
E-MAIL:owner@spaceben.com URL:https://spaceben.com/

FANS **FRIDAY AMUSEMENT NEGATIVE SHOP**  
FANS予定▶第1513～1516回

「かたり場」随時開催しています。  
2月は演劇上演の予定はございません。

WHAT'S  
"FANS"?

多目的スペース「SpaceBEN」にて、毎週金曜日の夜7時30分から約30分の芝居やダンスやライブを楽しむ企画です。

— 一般前売500円 / 大学生以下前売200円（当日それぞれ100円増） —